

# えべつ コラボニュース

2023.2.22 no.43



## 江別の市民活動団体を紹介しています

今回は、江北地区の活性化とまちづくりを推進している

特定非営利活動法人 **えべつ江北まちづくり会** です。

### ■ 活動の概要を教えてください

えべつ江北まちづくり会は、都市と農村を結び、地域を活性化するため、江北地域の地域コミュニティづくりを行っていた江北まちづくり会が母体となって生まれた団体です。交流をメインとしたイベントや幅広い年代への食育、また農産物6次化の取り組みを進めています。2017年に都市と農村の交流センター「えみくる」の指定管理を受けたことをきっかけに、2018年NPO法人化しました。

施設の調理室を使った食育事業には力を入れていて、保育園児から大学生を対象とした事業の他、地元野菜中心の季節感を取り入れた料理教室は、大変人気です。また、れんがによる組立式ピザ窯の提供や販売、ヤツメウナギや川魚の展示、江別・江北地域写真展など、幅広い分野の活動を行っています。また、地域のお祭りも兼ねたサマーフェスタや、交流イベントとして江北ふれあい祭り等を開催しており、地域外からも沢山の方にお越しいただいています。



令和4年8月に開催したえみくる料理教室「本格グリーンカレーとタイ料理」の様子です。辛い、甘い、酸っぱいという複雑な味のイメージのあるタイ料理を、地場産夏野菜や様々な香辛料や食材を使って作りました。



野菜を育てている、会の畑とハウス。



新鮮野菜の軽トラック販売は、夏季の間、市内の4箇所で実施しています。令和3年度から、市民交流施設ぶらっとの駐車場も会場のひとつになりました。

令和4年の江別市民活動見本市でもご協力いただき、交流広場での野菜の提供販売は大変好評でした。

### ■ 近年、特に力を入れている活動を教えてください

近年は、交流とともに、「支え合う地域づくり事業」をコンセプトとして、事業の展開をしています。とりわけ、福祉事業所と連携して、所有している農地で本格的に野菜を育てて販売する事業に力を入れています。就労訓練に農作業を行ってもらうことで生きがいを見つけてもらうとともに、高齢化した農業従事者への支援になるという双方のメリットがあります。育った野菜の販売も、買い物の困難な地域へ軽トラックで出向くなど、協働の理念を大切にしています。また、江別市の事業である江北地区デマンド交通の実証運行、江北放課後児童クラブの運営(2021年4月～)など、地域課題の解決にも積極的に寄与しています。

自然と向き合うことを通じて、地域や人と繋がり、健康を育む活動をしています。

沢山の人に、江別市と、江別で取れた農産物を好きになってもらいたいと思っています。



特定非営利活動法人  
えべつ江北まちづくり会



江別市敏と農村の交流センター  
「えみくる」



## 「コラボのたね」に登録しませんか？

江別市では、市内で活動している市民活動団体のための情報発信の場「コラボのたね」の登録団体を募集しています。登録は無料です。

・お申し込みや、お問い合わせは 江別市役所 生活環境部市民生活課市民協働担当  
【TEL 011-381-1124 FAX 011-381-1070】まで

## 市民活動団体版「出前講座」を行っています。

市内の市民活動団体が皆さんのもとに出向き、それぞれの団体の持つ特性を活かした講座や講演などを行います。

・メニュー表は江別市民活動センター・あい、公共施設、市のホームページ等で配布しています。

・実施団体も募集中です。お申し込み、お問い合わせは、江別市民活動センター・あい  
【TEL 011-374-1460 FAX 011-374-1461】まで



えべつ市民活動団体  
江北まちづくり会

### 活動紹介

江北地域(篠津・美原・八幡・豊栄)の地産地消と地域活性化に努め、各種イベントや情報発信をしています。

平成29年4月1日から江別市都市と農村の交流センター「えみくる」を運営しています。